



シリーズ・2018年末手当のたたかい⑤

営業収益は第2四半期決算では過去最高!

10月29日、JR東日本会社は、2018年度四半期決算概要を発表しました。単体決算では、営業収入・運輸収入が、連結決算では営業収益が7期連続の増収、かつ、第2四半期としては過去最高となりました。また連結決算の経常利益・親会社株式に帰属する四半期純利益が過去最高となりました。



第1四半期増収減益だった連結決算は増収増益に!

○損益計算書

(単体決算/単位:億円)

		第2四半期累計(4月1日~9月30日)				
		2016年度 実績 A	2017年度 実績 B	2018年度 実績 C	増 減	
					金額 C-B	% C/B×100
単体	営業収益	10,418	10,560	10,632	71	100.7
	うち運輸収入	9,179	9,317	9,374	56	100.6
	営業利益	2,424	2,551	2,482	△ 69	97.3
	経常利益	2,186	2,389	2,317	△ 71	97.0
	四半期(当期)純利益	1,528	1,684	1,652	△ 32	98.1
連結	営業収益	14,351	14,648	14,869	221	101.5
	営業利益	2,776	2,923	2,922	△ 1	100.0
	経常利益	2,449	2,656	2,664	7	100.3
	親会社株式に帰属する 四半期(当期)純利益	1,647	1,785	1,789	3	100.2

決算概要をしてみると、単体決算は、増収減益。営業収入は7期連続の増収かつ、第2四半期としては過去最高。一方で、動力費や部外委託費の増などにより物件費等が増加したことなどにより、全ての利益が減益となりました。

連結決算は、増収増益。営業利益は7期連続の増収かつ、第2四半期決算として過去最高。また、経常利益・親会社株式に帰属する四半期純利益が過去最高となりました。第1四半期では増収減益だった連結決算は、増収増益へ回復しました。

年末手当に関する申し入れの第一回交渉を、11月1日(木)11時から行います。東日本ユニオンは、労働者にとって最も重要な賃金に関わる「2018年度年末手当」要求満額獲得に向けて取り組みます!

年末手当に関する申し入れ第一回交渉 11月1日(木) 11:00~